

# 『千葉柏道路沿線会議（仮称）』を設立します

～ 東葛地域の渋滞解消へ向け「千葉柏道路」の計画検討を進めています。  
広く市民の方々のご意見を取り入れるPI（パブリック・インボルブメント）活動のため  
『千葉柏道路沿線会議（仮称）』を設立します。～

記者発表資料

## ●千葉柏道路の経緯

千葉県の交通渋滞による損失時間は東葛地域を含む県北西部で県全体の約7割を占めており、国道16号においても呼塚交差点をはじめ、東葛地域での交通渋滞が特に著しく、国土交通省では「千葉柏道路」の計画づくりを進めています。

「千葉柏道路」の計画づくりは平成11年11月に計画ルート素案を公表、平成13年7月からPI方式による市民委員参加の「千葉柏道路協議会」が発足、平成18年6月に提言を公表しました。

## ●計画の具体化に向け

「千葉柏道路協議会」の提言を受けて、千葉柏道路の概略計画の作成に向けたより具体的な検討を進めるため、行政委員からなる「千葉柏道路検討会」を平成18年10月11日に設立しました。

## ●市民意見の反映へ

さらに、計画検討に市民意見を反映すべく、PI活動を実施していく予定です。PI活動の実施について、内容・手法などの助言をいただく第三者機関として、『千葉柏道路沿線会議（仮称）』をこの度設立します。この会議は、学識経験者及び沿線在住の市民から構成されます。

### 『千葉柏道路沿線会議（仮称）』第1回開催のご案内

- ◆日時 平成18年11月17日（金） 19時00分～
- ◆場所 柏市役所 分室1 第1会議室
- ◆主な議題
  1. 「千葉柏道路沿線会議（仮称）」の設立について（予定）
  2. 千葉柏道路の経緯について
  3. 千葉柏道路の今後の進め方について

※会議冒頭（座長挨拶）までの取材は可。会議が始まりましたら退席をお願い致します。  
なお、会議内容については、会議終了後（20:30終了予定）に取材をお受け致します。

平成18年11月15日（水）  
国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所

発表記者クラブ		
竹芝記者クラブ	横浜海事記者クラブ 千葉県政記者会	神奈川建設記者会
問い合わせ先		
国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所 計画課長	むとう さとし 武藤 聡	電話043-287-0314

# 千葉柏道路の計画づくりに関する経緯

## 千葉柏道路協議会の検討経緯

「千葉柏道路」において  
国土交通省(旧建設省)で検討を進めている計画案のあらましを公表  
(平成11年11月26日)

説明会開催  
(3市1町で平成11年12月～平成12年2月にかけて開催)

PIの進め方(案)の公表(平成12年8月)  
◎「協議会」と「市民とのコミュニケーション活動」を基本に実施  
◎協議会…[委員]学識経験者、市民委員(公募)、関係機関代表  
[事務局]国土交通省、千葉県

協議会発足(平成13年7月24日)

協議会開催(19回開催)  
(作業部会11回、勉強会3回、現地調査2回開催)

現状確認

必要性の検討

道路のコンセプトづくり

対策案の検討

対策案の比較・評価

検討結果のとりまとめ

### 市民との コミュニケーション活動

#### 情報の共有化[広報]

- 記者発表
- ホームページ
- 千葉柏道路NEWS

#### 市民意見の反映[広聴]

- アンケート
- 専用電話、FAX
- 電子メール
- 手紙、はがき
- 相談窓口 など

提言

(平成18年6月公表)

# 千葉柏道路協議会提言（平成18年6月公表）

## 千葉柏道路協議会提言

### 【現状認識と対策の必要性】

1. 現在の国道16号には交通渋滞とこれに起因する環境悪化などの問題が多く、この問題を放置できないため、交通容量拡大を軸とした何らかの対策が必要である。

### 【計画コンセプト】

2. 対策の検討にあたり将来の「東葛らしさ」を踏まえた我々が考える「みちづくり」・「まちづくり」のコンセプトが重要である。良好な道路交通環境の整備により、「東葛らしい」みちづくり・まちづくりを推進すべきである。

### 【対策案の検討】

3. 抜本的な問題解消のためにはバイパス案が有効である。併せて、将来も主要道路として機能する現国道16号の対策を行うことも必要である。

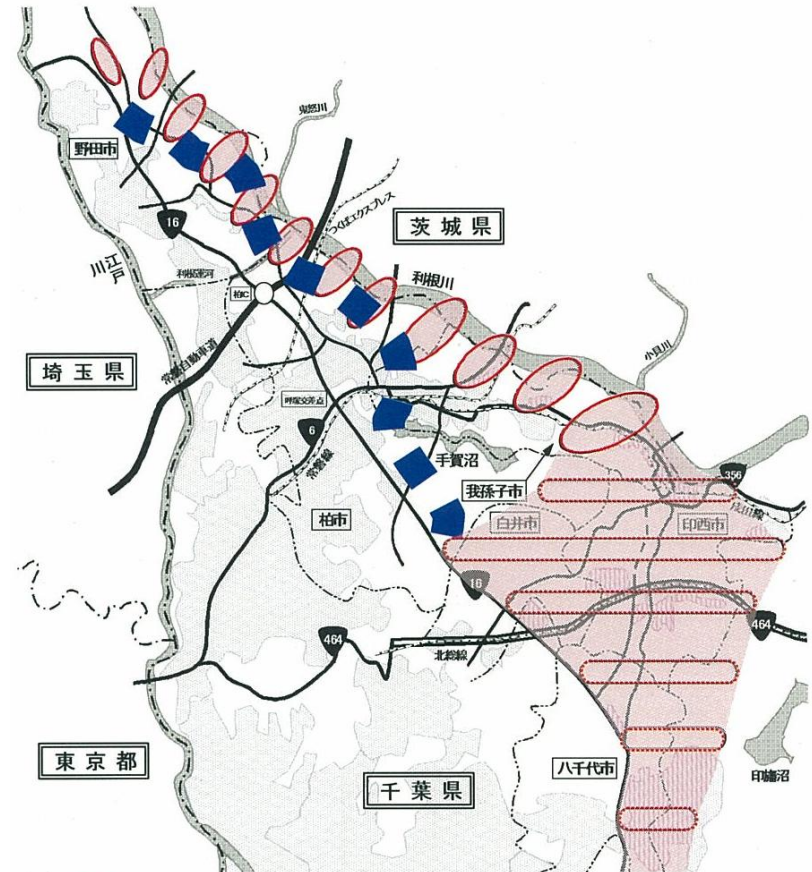
### 【バイパス案の考え方】

4. バイパス案については、渋滞緩和等の交通機能に加え、手賀沼の保全や既成市街地への影響といった評価も重要であり、住民からの意見が多く協議会委員からも意見があった既成市街地や手賀沼を迂回する利根川沿いのルートを含め、起終点位置など様々な視点から十分に検討すべきである。

### 【今後について】

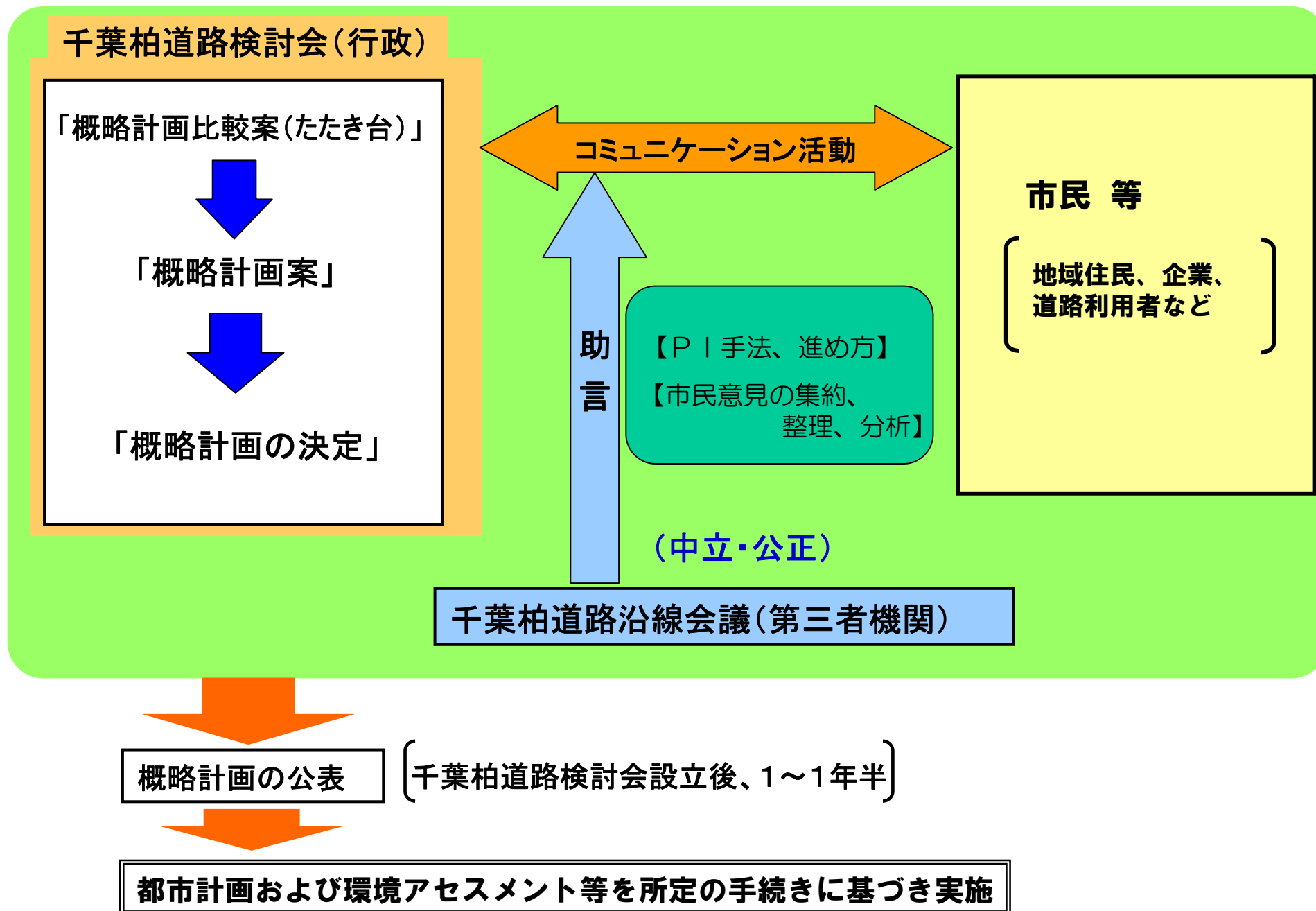
5. 今後は、周辺道路や沿道の土地利用、それをかもしだす風致景観を勘案しながら、地域と行政が協働しつつ専門的な視点から検討を行うべきである。

## 今後検討を進めるルート案



- : 「手賀沼の保全」や「既成市街地への影響」を評価した場合に、考えられるひとつのルート帯
  - : 上記ルート帯から16号への取り付きをイメージしたもので、協議会としては未検討
  - : ルート素案
- (平成11年11月)

# 千葉柏道路計画策定の進め方(案)



## 千葉柏道路計画策定スケジュール（案）

